

地方独立行政法人茨城県西部医療機構

令和 2 年度の業務実績に関する評価結果（案）

全体評価・大項目評価

令和 3 年 6 月

筑西市

I 全体評価

地方独立行政法人茨城県西部医療機構の令和2年度の全体評価の結果は、全体として中期目標、中期計画の達成に向けておおむね計画どおり進んでいる。大項目ごとの評価として、Bが4、Cが1つであり、また、小項目評価全体の平均は2.9であり、全体として、おおむね計画どおりの業績であったと判断した。

第1期中期計画期間（H30.10.1～R4.3.31）の第3年度である令和2年度は、コロナ禍においても安定した稼働状態を得るべく奔走し、また、地域医療を支える中核病院としての役割を果たすため、急性期と新型コロナウイルス感染症への対応を両立させるべく、奮闘した年度であった。

救急受入に関しては、応需率が88.7%と、前年度の86.9%より上昇している。また、筑西広域管内搬送については、36.7%を受け入れており、こちらも前年度の36.5%より向上している。新型コロナウイルス感染症流行下においても急性期対応の実績を伸ばしており、2次救急医療機関としての貢献度を高めている。

新型コロナウイルス感染症対応については、新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、新型コロナウイルス感染患者や感染疑い患者の対応にあたった。感染対策を徹底し、法人の使命を全うしようと職員一丸となって懸命に努めたことは高く評価できる。

在宅医療においては、筑西診療所が職員を増員し、体制強化を図るとともに、前年に発足させた連携グループをさらに発展させ、真壁医師会を事業主体とする在宅医療参入促進・連携機関として参入する形で、地域の診療所（宮田医院、河上医院）、訪問看護ステーション（みやた訪問看護ステーション）と新たな連携グループを発足させた。地域の在宅医療の拠点の一つとして、地域へ貢献しようという意欲が感じられる。

経営面については、DPC導入による診療報酬上の成果が出ており、入院及び外来診療単価については、目標値を超えることができた。また、新型コロナウイルス感染症対応のため病床確保等を行ったことで、入院病床確保補助金等の国の支援を受けることが可能となり、経営への影響を低減することができた。併せて、新設された特別減収対策企業債を活用し、資金不足など財務状況の悪化に対処した。

しかしながら、経営基盤の脆弱性は依然として払拭できていない。新型コロナウイルス感染症の感染拡大など経営上予測が困難な要因が生じたことは察するが、目標とする203床全床稼働するための体制整備が遅れていることは否めない。資金不足の危機に瀕したことからも安定した経営基盤とは言い難く、法人はこの事実を重く受け止め、さらなる業務運営の改善が必要である。

コロナ禍にあって、地域医療を支える中核病院としての役割は、より一層重みを増していると考えられる。その責務を全うするためにも、安定した経営基盤を構築することを強く望む。

II 大項目評価

[第1表 大項目の評価方法]

大項目評価は、小項目評価の結果及び特記事項の記載内容を考慮し、大項目ごとに中期目標及び中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について、次の5段階による評価を行う。

(地方独立行政法人茨城県西部医療機構年度評価実施要領第3条第2項第3号)

評点	評 語	小項目評価平均点	摘 要
S	特筆すべき進捗状況にある	4.5以上	各段階の評価は、大項目ごとの小項目評価評点の平均点(小数点以下第2位四捨五入)で区分する。
A	計画を上回って進んでいる	3.5以上4.5未満	
B	計画どおり進んでいる	2.5以上3.5未満	
C	やや遅れている	1.5以上2.5未満	
D	重大な改善事項がある	1.5未満	

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

(1) 評価結果

B

(2) 判断理由

小項目評価の結果、平均点は、3.1であり、B評価（計画どおり進んでいる）が妥当と判断した。

(3) 小項目評価の集計結果

分野	評価 項目数	5	4	3	2	1
		大幅に上回 って実施	上回って実 施	順調に実施	十分に実施 できていな い	大幅に下回 る
1 医療サービスの 向上	5		2	3		
2 医療提供体制の 整備	3			2	1	
3 患者・住民サー ビスの向上	3			3		
4 地域医療連携の 強化	3			3		
5 信頼性の確保	3		1	1	1	
合計	17	0	3	12	2	0

(4) 大項目評価に当たり考慮した事項、意見等

①患者中心の安全で心のこもった良質な医療の提供 1－(1)

計画に基づき、取組がなされている。患者総合支援室に常勤職員として看護師を1名配置し、相談機能の充実が図られた。

②急性期を中心に地域特性を反映する医療の提供 1－(2)

新型コロナウイルス感染症流行下においても、応需率の向上が見られ、筑西広域消防本部からの管内救急車受け入れ割合も増加していることは、高く評価することができる。また、救急医療の知識・技能向上のための救急勉強会を近隣の医療従事者にも公開していることも評価できる。

③がん、脳疾患、心疾患、糖尿病への対応 1－(3)

計画に基づき、取組がなされている。ストーマ外来を新たに設け、消化器疾患の術後患者のアフターケアに取り組んだ。

④小児医療への取組 1－(4)

計画に基づき、取組がなされている。小児救急患者の受入体制の充実のため、大型連休、年末年始の2日間小児科に特化した救急診療を行った。

⑤地域医療機関と連携した在宅医療の充実 1－(5)

筑西診療所については、訪問看護ステーションの人員増により体制を強化するとともに、前年に発足させた連携グループをさらに発展させており、高く評価することができる。

⑥優秀な医療スタッフの確保 2－(1)

医療スタッフの確保に向けて、新型コロナウイルス感染症流行下にあっても工夫し、採用活動に取り組んでいるものの、病院運営の要である看護師の確保が十分にできていない。

⑦医療スタッフの専門性・医療技術の向上 2－(2)

新型コロナウイルス感染症流行の影響で研修が来年度以降に延期となってしまったことから、目標とした認定看護師、特定看護師の新規取得には至らなかった。しかしながら、資格取得に向けての準備を整えていたことを考慮した。

⑧多職種連携に基づくチーム医療の実践 2－(3)

計画に基づき、取組がなされている。新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら、委員会を開催し、多職種の情報共有を図った。

⑨患者及び患者家族の満足度向上への取組 3－(1)

計画に基づき、取組がなされている。患者アンケートについては、前年度より満足度の向上がみられた。

⑩利便性及び快適性の向上 3－(2)

公共交通の整備に向けたアンケート調査については、見合わせる事となったが、概ね計画に基づき、取組がなされている。

⑪健康増進や疾病の予防医学の活動 3－(3)

新型コロナウイルス感染症流行下であることから、住民に対する生活習慣病や予防医学についての講演会は、実施できなかったが、概ね計画に基づき、取組がなされている。新型コロナウイルス感染症流の状況を見ながら住民に対する講演会の実施について検討されたい。また、人間ドック・健康診断について、金曜日午後の受入を始め、利用者の人数が増加したことは評価できる。

⑫地域医療機関、かかりつけ医との連携（2人主治医制） 4－(1)

計画に基づき、取組がなされている。地域医療支援病院の要件の一つである紹介逆紹介率について、要件を達成することができた。地域医療支援病院の承認に向け着実に進んでいる。

⑬地域医療連携のコントロールタワーとしての役割 4－(2)

地域連携パスの整備については、新型コロナウイルス感染症流行の影響から他機関との協議ができなかったが、概ね計画に基づき、取組がなされている。新型コロナウイルス感染症流の状況を見ながら、引き続き地域連携パスの整備にあたられたい。

⑭地域医療の情報共有・分析への取組 4－(3)

計画に基づき、取組がなされている。筑西市が設置する「地域医療推進センター」が行う情報収集・分析と協働し、地域から求められている医療機能の検討に着手した。

⑮医療安全対策等の徹底 5－(1)

新型コロナウイルス感染症重点医療機関として対応にあたるため、徹底した感染対策の取組がなされた事を高く評価したい。

⑩法令、行動規範、病院理念等の遵守 5－(2)

計画に基づき、取組がなされている。法改正に対し適切に対応を行っている。

⑪地域や関係者に開かれた医療施設としての取組 5－(3)

新型コロナウイルス感染症流行の影響により、人を集める事業については、中止となった。Web会議システムを活用するなど可能な限り代替手段も検討されたい。

2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

(1) 評価結果

B

(2) 判断理由

小項目評価の結果、平均点は、2.7であり、B評価（計画どおり進んでいる）が妥当と判断した。

(3) 小項目評価の集計結果

分野	評価 項目数	5	4	3	2	1
		大幅に上回 って実施	上回って実 施	順調に実施	十分に実施 できていな い	大幅に下回 る
1 地方独立行政法 人としての業務 運営及び管理体 制の構築	3			1	2	
2 勤務する職員に 魅力ある病院づ くり	3			3		
合計	6	0	0	4	2	0

(4) 大項目評価に当たり考慮した事項、意見等

①効率的な運営及び管理体制の確立 1－（1）

継続的な改善の下での業務運営を実施しようと努めているが、計画の進捗状況管理が第3年度の着手となる等、取組内容が十分でない判断した。

②事務職員の職務能力の向上 1－（2）

経営管理機能を強化するための事務職員の計画的な採用や育成が十分に実施できてないと判断した。

③計画的な研修制度の整備 1－(3)

計画に基づき、取組がなされている。新型コロナウイルス感染症流行の影響で研修が中止や延期になっているが、WEB研修を積極的に活用することで、知識の向上を図っている。

④意欲を引き出す人事給与制度の整備 2－(1)

当初の計画からは遅れたが、人事評価を完了し、次年度からの給与に昇進、昇格、昇給を反映できるまでになったことは評価したい。

⑤職員満足度の向上 2－(2)

計画に基づき、取組がなされている。新たな試みとして職員提案が実施されたことは評価したい。

⑥働きやすい職場環境の整備 2－(3)

計画に基づき、取組がなされている。新型コロナウイルス感染症流行下で職員の負担を軽減する対応がなされたことは評価したい。

3 財務内容の改善に関する事項

(1) 評価結果

C

(2) 判断理由

小項目評価の結果、平均点は、2.3であり、C評価（やや遅れている）が妥当と判断した。

(3) 小項目評価の集計結果

分野	評価 項目数	5	4	3	2	1
		大幅に上回 って実施	上回って実 施	順調に実施	十分に実施 できていな い	大幅に下回 る
1 経営基盤の構築	1				1	
2 収益の確保と費 用の節減	2			1	1	
合計	3	0	0	1	2	0

(4) 大項目評価に当たり考慮した事項、意見等

①経営基盤の構築 1

国等の補助金の活用、職員への手当の拡充など、新型コロナウイルス感染症への対応を迅速かつ柔軟に実施できたことは評価できるが、安定した経営基盤とは言い難い。

②収益の確保 2－（1）

入院患者数の確保や病床利用率について、新型コロナウイルス感染症に対応するため、目標の達成は困難であったと考える。一方、診療単価については、目標を達成したことは評価できる。

③費用の節減 2－（2）

効率的な病院経営を行うための取組みについては、データ分析をもとに病院運営の在り方が検討されたが、具体的な方策の実施が必要である。

4 その他業務運営に関する事項

(1) 評価結果

B

(2) 判断理由

小項目評価の結果、平均点は、3.0であり、B評価（計画どおり進んでいる）が妥当と判断した。

(3) 小項目評価の集計結果

分野	評価 項目数	5	4	3	2	1
		大幅に上回 って実施	上回って実 施	順調に実施	十分に実施 できていな い	大幅に下回 る
1 地域災害拠点病 院としての災害 への備え	1			1		
2 組織統合におけ る相互協力、融 和の推進	1			1		
合計	2	0	0	2	0	0

(4) 大項目評価に当たり考慮した事項、意見等

①地域災害拠点病院としての災害への備え 1

計画に基づき、取組がなされている。新型コロナウイルス感染症流行下における災害活動の円滑化と協力体制を強化するための防災訓練が行われた。

②組織統合における相互協力、融和の推進 2

計画に基づき、取組がなされている。新型コロナウイルス感染症流行下であるため、イベントの開催は自粛となったが、同期会冊子の作成など職員の親睦を深める取組が行われた。

5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

(1) 評価結果

B

(2) 判断理由

小項目評価の結果、平均点は、3.0であり、B評価（計画どおり進んでいる）が妥当と判断した。

(3) 小項目評価の集計結果

分野	評価 項目数	5	4	3	2	1
		大幅に上回 って実施	上回って実 施	順調に実施	十分に実施 できていな い	大幅に下回 る
予算、収支計画及び 資金計画	1			1		
合計	1	0	0	1	0	0

(4) 大項目評価に当たり考慮した事項、意見等

新型コロナウイルス感染症対応のため病床確保等を行ったことで、入院病床確保補助金等の国の支援を各種受けることが可能となり、診療報酬における臨時的措置等の特別な助成もあって経営への影響を少なくすることができた。

Ⅲ その他 全体的な意見

新型コロナウイルス感染症流行下にあつて、地域医療を支える中核病院としての役割を果たすため献身的に取り組んだことは評価したい。しかしながら、安定した経営基盤を構築することは、初年度から継続した課題である。課題解決のため、迅速に取り組まれない。